

こちら消防 119

消防本部 (☎ 83-0119)

「消防操法大会」は、消防団員が市民の生命、財産を守るため、実際の火災を想定して、安全・確実かつ迅速に消火活動が行えるよう、日ごろの訓練の成果を分団同士で競い合うものです。

大会本番に備え、出場する消防団員は猛暑の時期にもかかわらず、仕事が終わった夕方から夜にかけて訓練に励んでいます。

市民のみなさん、地元の分団が優勝を目指してがんばりますので、ぜひその勇姿をご観覧ください。

なお、この大会で優勝した分団は9月に行われる山口県消防操法大会に出場します。

がんばる消防団

『山陽小野田市消防操法大会』開催



山陽小野田市消防操法大会

◇と き 8月27日(日) 8:15～

◇ところ まつば園グラウンド(高米三丁目6番)

◇問い合わせ先 消防本部 (☎ 83-2037)

こころ えがおのまち 5

「心を磨く体験活動の充実」

私たちは、日常生活の中で、会話や文章などを通じて、多くの言葉を使っています。その言葉は、伝達手段としてだけでなく、相手に夢や希望を与える素晴らしい力を持っている反面、相手を不愉快にさせ、時には相手の心を深く傷つける凶器にもなります。日々の生活に目を向けると、そうした言葉の重みを考えない鋭角に尖った言葉があふれています。また、インターネットの普及にともなって、その匿名性や情報発信の容易さから、言葉による人権侵害に関する問題が深刻化しています。



そうした現状の中で、相手の気持ちや立場を十分に配慮した言葉が交わされるようになるためには、多様な体験活動の機会の充実や情報の提供を図ることが必要です。例えば、体験活動としては、ボランティア活動による奉仕体験や、人や自然や文化とのふれあい活動による感動体験などが考えられます。こうした活動を通じて、豊かな人間性や社会性を育みながら、人権意識や感覚を磨いていくことが、現代社会においては必要不可欠なことではないでしょうか。多様な交流活動を通じて、さらに心を磨く体験活動が広がっていくことを期待します。

(社会教育課)

理大 つうしん 17

<http://www.yama.tus.ac.jp>

オープンキャンパスを開催しました

7月23日(日)に今年度第1回目のオープンキャンパスが開催され、雨天にもかかわらず県内外からたくさん的高校生や一般の方々が訪れ、キャンパスの見学や先端技術体験学習を行うなど、ひと足早い大学生活を味わいました。

参加者の実験・実習に取り組む姿は真剣そのもので、普段見たことがない大学の最新の機器や実験道具を使った、不思議な科学現象を体験し、サイエンスの面白さを十分に味わうことができたのではないのでしょうか。

次回は、今回と同様に様々なメニューをご用意し、10月1日(日)に開催します。

多数の方のご来場をお待ちしています。

■問い合わせ先 学務課 (☎ 88-3500)



▲超電導の不思議な世界を体験しました